

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投資／海外／不動産投資		特化型
信託期間	2028年6月13日まで（2013年9月20日設定）		
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。		
主要運用対象	国際アジア・リート・ファンド（通貨選択型） インド・ルピーコース（毎月決算型）	アジア・リート・マスター・ファンド（INRクラス）受益証券およびマネー・プール マザーファンド受益証券	
	アジア・リート・マスター・ファンド（INRクラス）	シンガポール・ドルや香港ドルなど複数の通貨建の日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している不動産投資信託（リート）等	
	マネー・プールマザーファンド	わが国の公社債	
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> 日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している不動産投資信託（リート）等に投資します。 不動産投資信託（リート）等の安定したインカムゲインの確保と、値上がり益、および為替差益の獲得を目指します。 シンガポール・ドルや香港ドルなど複数の通貨建の不動産投資信託（リート）等に投資を行い（以下、不動産投資信託（リート）等の通貨のことを「原資産通貨」といいます。）、原則として原資産通貨について原資産通貨売り／インド・ルピー買いの為替取引を行います。 		
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> 投資信託証券（上記の受益証券をいいます。）への投資割合には制限を設けません。 1発行体等あたりの当ファンドの純資産総額に対する比率は、原則として、25%以内とします。 		
分配方針	毎月13日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。原則として、配当等収益や分配対象額の水準等を考慮し、継続的に分配することをめざします。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）		

- ◆当ファンドは特化型運用を行います。一般社団法人投資信託協会は信用リスク集中回避を目的とした投資制限（分散投資規制）を設けており、投資対象に支配的な銘柄（寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い銘柄）が存在し、又は存在することとなる可能性が高いものを、特化型としています。
* 寄与度とは、投資対象候補銘柄の時価総額の合計額における一発行体あたりの時価総額が占める比率または運用管理等に用いる指数における一発行体あたりの構成比率を指します。
- ◆当ファンドは、日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場している不動産投資信託（リート）等に実質的に投資します。当ファンドの投資対象には支配的な銘柄が存在するため、特定の銘柄への投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

運用報告書（全体版）

国際アジア・リート・ファンド（通貨選択型）
インド・ルピーコース（毎月決算型）

第140期（決算日：2025年7月14日）
 第141期（決算日：2025年8月13日）
 第142期（決算日：2025年9月16日）
 第143期（決算日：2025年10月14日）
 第144期（決算日：2025年11月13日）
 第145期（決算日：2025年12月15日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 ここに謹んで運用経過等をご報告申し上げます。
 今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしく
 お願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
 土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様のお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

当期間（過去6ヵ月間）の運用で主眼においたポイントをご説明させていただきます。

配当利回りなどの面で相対的に投資妙味が高いと思われる銘柄を中心にポートフォリオを構築しました。

【第145期末における主なリート市場への投資のポイント】

◎シンガポール

シンガポール市場は、期間を通じて堅調な展開となりました。米トランプ関税については、シンガポールへの追加関税率は10%にとどまり、リートセクターへの影響は限定的でした。シンガポールの長短金利が低下基調をたどる中、借入コスト減少への期待などを受けてオフィスリート中心に上昇しました。シンガポールの生活費は高騰を続けているものの、小売リートのファンダメンタルズは良好で、また人工知能（AI）バブルへの懸念が台頭する中、データセンターリートも底堅く推移しました。金利が低下する中、リートによる資金調達動きも活発化し、データセンターやレジデンシャル関連のIPO（新規株式公開）が行われました。今後の用途別の見通しについて、小売りは好立地にある物件への需要は引き続き強く、賃料の値上げが期待できることなどからポジティブに見ています。オフィスは、AIの普及が雇用に与える影響は不透明ですが、2026年以降の需給環境は好転が見込まれます。産業用施設は、テクノロジー企業が賃貸契約面積を削減したことからビジネスパークの空室率が上昇し、賃料の下落が見られました。そして、中国経済の不振で一部物流施設については供給過剰が続いていることから慎重な見方をしています。一方、AI関連の設備投資は、より規模の大きい効率的なデータセンター需要の高まりが見込まれることから引き続き強気に見ています。

◎香港

香港市場は、香港の銀行間金利が安定的に推移する中、期間半ばまでは堅調に推移していましたが、香港の個人消費の低迷などを受けて期間末にかけて軟調な展開となりました。今期は香港ドルが中国人民元に対し安定的に推移しましたが、日本円の下落などを受けて一部消費が海外に流出しました。今後の用途別見通しについて、小売りは香港市民による深圳への越境消費がスーパーマーケットや中華料理店などに集中している他、中国の電子商取引業者がマーケティングキャンペーンを強化していることや円安による日本への消費流出が懸念されることから中立の見方をしています。オフィスは、引き続き、中心業務地区およびその周辺での供給増加やグレードAのオフィス賃料下落が見込まれることなどから弱気なスタンスを維持しています。ホテルについては、香港へのインバウンド旅行者数は2025年に入り回復傾向にあるものの、引き続き中国本土と香港間の高速度鉄道による移動のしやすさから、中国本土からの旅行者は日帰り旅行へとシフトしており、ホテルの客室単価は下落傾向にあるため、中立を維持します。



イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド
アジア株式インカム・チーム
ポートフォリオ・マネジャー
チュン・キョン・オン

（注）上記は、アジア・リート・マスター・ファンドの資料を基に、三菱UFJアセットマネジメントが作成したものです。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 税分	価 込配	額 み金	債 期騰	券 落	率 中率	債 組入	券 比	率 率	投 資組	信 託入	純 総	資 産	額
	円		円		%		%		%		%			百万円	
116期(2023年7月13日)	3,637		45		△1.0		—		—		99.1			28,966	
117期(2023年8月14日)	3,729		45		3.8		—		—		99.1			29,356	
118期(2023年9月13日)	3,664		45		△0.5		—		—		99.0			28,327	
119期(2023年10月13日)	3,544		45		△2.0		—		—		99.1			27,056	
120期(2023年11月13日)	3,460		45		△1.1		—		—		98.8			25,734	
121期(2023年12月13日)	3,483		45		2.0		—		—		99.2			25,268	
122期(2024年1月15日)	3,597		45		4.6		—		—		97.8			25,599	
123期(2024年2月13日)	3,496		45		△1.6		—		—		99.0			24,283	
124期(2024年3月13日)	3,352		45		△2.8		—		—		98.7			22,853	
125期(2024年4月15日)	3,299		45		△0.2		0.0		—		99.0			21,874	
126期(2024年5月13日)	3,325		45		2.2		0.0		—		99.1			21,588	
127期(2024年6月13日)	3,174		45		△3.2		0.0		—		99.1			20,048	
128期(2024年7月16日)	3,359		45		7.2		0.0		—		99.2			20,793	
129期(2024年8月13日)	3,059		45		△7.6		0.0		—		99.0			18,603	
130期(2024年9月13日)	3,189		45		5.7		0.0		—		99.1			19,327	
131期(2024年10月15日)	3,277		25		3.5		0.0		—		99.0			19,562	
132期(2024年11月13日)	3,148		25		△3.2		0.0		—		98.4			18,103	
133期(2024年12月13日)	3,009		25		△3.6		0.0		—		99.3			16,382	
134期(2025年1月14日)	3,033		25		1.6		0.0		—		99.1			15,880	
135期(2025年2月13日)	2,948		25		△2.0		0.0		—		99.3			15,008	
136期(2025年3月13日)	2,890		25		△1.1		0.0		—		99.2			14,460	
137期(2025年4月14日)	2,644		25		△7.6		0.0		—		99.2			13,024	
138期(2025年5月13日)	2,878		25		9.8		0.0		—		99.1			14,132	
139期(2025年6月13日)	2,868		25		0.5		0.0		—		99.0			13,876	
140期(2025年7月14日)	2,979		25		4.7		0.0		—		99.0			14,212	
141期(2025年8月13日)	3,005		25		1.7		0.0		—		99.1			14,064	
142期(2025年9月16日)	3,085		25		3.5		0.0		—		99.1			14,291	
143期(2025年10月14日)	3,149		15		2.6		0.0		—		99.1			14,325	
144期(2025年11月13日)	3,220		15		2.7		0.0		—		99.1			14,221	
145期(2025年12月15日)	3,061		15		△4.5		0.0		—		99.0			13,261	

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落 率	騰 落 率			
第140期	(期 首) 2025年6月13日	円 2,868	% -	% -	% 0.0	% -	% 99.0
	6月末	2,982	4.0	0.0	-	99.4	
	(期 末) 2025年7月14日	3,004	4.7	0.0	-	99.0	
第141期	(期 首) 2025年7月14日	2,979	-	0.0	-	99.0	
	7月末	3,085	3.6	0.0	-	99.2	
	(期 末) 2025年8月13日	3,030	1.7	0.0	-	99.1	
第142期	(期 首) 2025年8月13日	3,005	-	0.0	-	99.1	
	8月末	3,022	0.6	0.0	-	99.1	
	(期 末) 2025年9月16日	3,110	3.5	0.0	-	99.1	
第143期	(期 首) 2025年9月16日	3,085	-	0.0	-	99.1	
	9月末	3,033	△1.7	0.0	-	99.3	
	(期 末) 2025年10月14日	3,164	2.6	0.0	-	99.1	
第144期	(期 首) 2025年10月14日	3,149	-	0.0	-	99.1	
	10月末	3,223	2.3	0.0	-	99.0	
	(期 末) 2025年11月13日	3,235	2.7	0.0	-	99.1	
第145期	(期 首) 2025年11月13日	3,220	-	0.0	-	99.1	
	11月末	3,159	△1.9	0.0	-	99.1	
	(期 末) 2025年12月15日	3,076	△4.5	0.0	-	99.0	

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

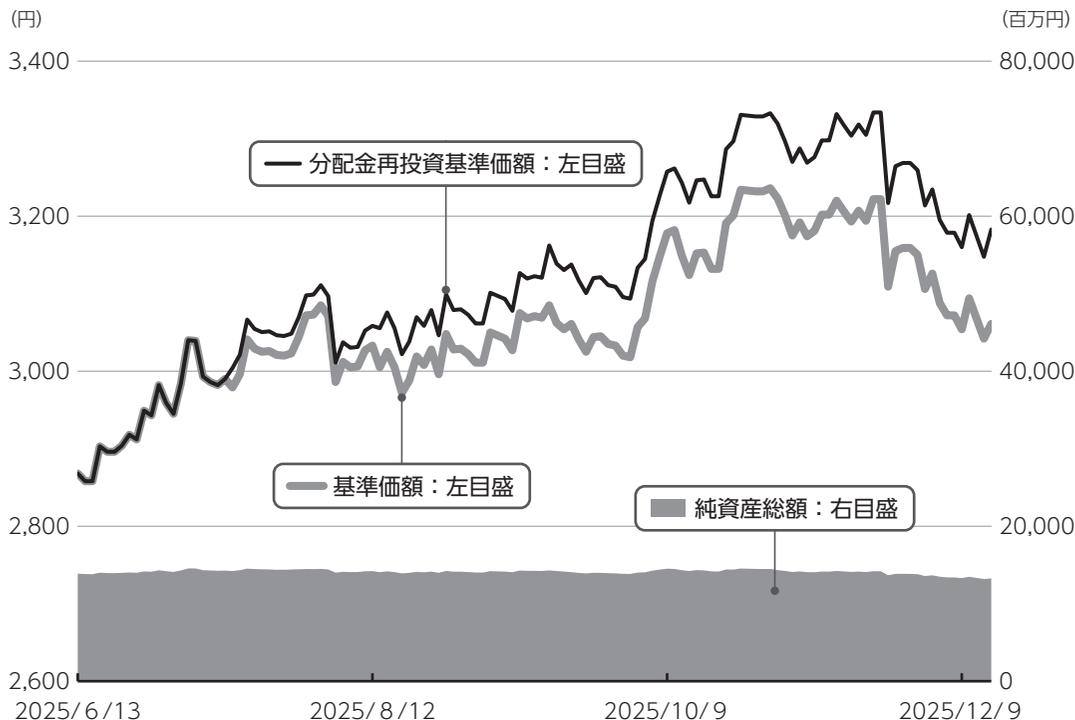
(注) 「債券先物比率」は買建比率-売建比率。

運用経過

第140期～第145期：2025年6月14日～2025年12月15日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第140期首	2,868円
第145期末	3,061円
既払分配金	120円
騰落率	11.0%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ11.0%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

シンガポールのリート価格が上昇したことが、基準価額のプラスに寄与しました。

個別銘柄では、「CAPITALAND INTEGRATED CO」（複合／シンガポール）の上昇などが基準価額のプラスに寄与しました。

インド・ルピーが円に対して上昇したことや、原資産通貨*売り／インド・ルピー買いの為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）などが、基準価額のプラスに寄与しました。

*投資を行うリート等の通貨を「原資産通貨」といいます。以下同じ。

下落要因

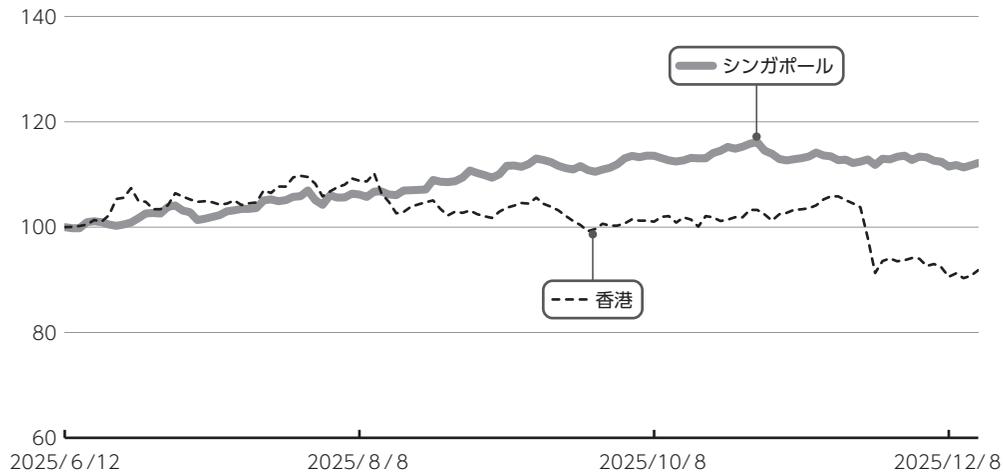
香港のリート価格が下落したことなどが、基準価額のマイナスに作用しました。

個別銘柄では、「LINK REIT」（小売り／香港）の下落などが基準価額のマイナスに作用しました。

第140期～第145期：2025年6月14日～2025年12月15日

投資環境について

アジア・リート市況の推移（当作成期首を100として指数化）



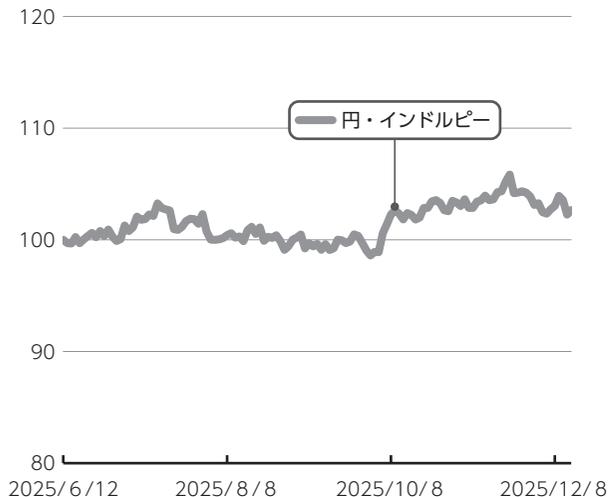
- (注) グラフはS & PグローバルREIT指数のうち、上記2ヵ国・地域の各指数（現地通貨建配当込み）を使用しています。
- (注) S & PグローバルREIT指数とは、S & Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが有する各株価指数の採用銘柄の中から、原則として不動産投資信託（REIT）および同様の制度に基づく銘柄の浮動株修正時価総額に基づいて算出される指数です。同指数はS & Pダウ・ジョーンズ・インデックス（S & P DJI）の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJアセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P DJIは、同指数の誤り、欠落、または中断に対して一切の責任を負いません。
- (注) 現地日付ベースで記載しております。

▶ **アジア・リート市況**
アジア・リート市場は、まちまちとなりました。

シンガポール市場は長期金利が低下したことや2025年8月の消費者物価指数（CPI）上昇率が低水準の伸びに留まったことから金融緩和の余地が高まったとの見方などが好感され、上昇しました。香港市場は、米国と主要国との関税交渉が進展したことにより、世界経済の見通し

に対する過度な懸念が後退したことなどがプラス材料となり上昇する局面もありました。一方で、堅調な輸出を背景に2025年第2四半期の実質国内総生産（GDP）は良好な結果となったものの、民間消費の伸びが低位に留まったことや、大手小売り銘柄が賃料低下を背景に、市場予想を下回る決算と見通しを発表したことなどから、小売りセクターを中心に下落しました。

為替市況の推移（当作成期首を100として指数化、対円）



（注）現地日付ベースで記載しております。

▶ 為替市況

当期間を通してみると、インド・ルピーは対円で上昇しました。

インド・ルピーは、米国との関税交渉が難航していることに加え、株式市場での海外投資家の資金流出も重荷となっていることなどから、米ドルに対しては下落したものの、高市政権の意向を反映した日銀の金融緩和継続と利上げ後ずれ観測、加えて積極的な財政出動の見通しなどを背景に、円は米ドルに対してさらに下落したことから、当期間を通じて対円では上昇しました。

▶ 国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は、プラス圏での推移となりました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）インド・ルピーコース（毎月決算型）

当期間を通じて、円建の外国投資信託であるアジア・リート・マスター・ファンド（I NRクラス）受益証券を高位に組み入れ、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行いました。

▶ アジア・リート・マスター・ファンド（I NRクラス）

主としてシンガポール・ドルや香港ドルなど複数の通貨建の日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）しているリート等に投資しました。

国債利回りと比較して、配当利回りに妙味があると判断した銘柄を中心に投資を行いました。

ファンダメンタルズ分析を引き続き軸に据えつつ、短期的な市況変動への対応として、クオונツ分析（データを数理統計的に分析すること）も活用し機動的なポジション調整を行うことで、市況変動への柔軟性を高めた運用を行いました。

銘柄入替のポイントは以下の通りです。

売買動向

「CENTURION ACCOMMODATION」（住宅／シンガポール）を新規組入した一方で、「CAPITALAND ASCOTT TRUST」（ホテル／シンガポール）を全売却しました。

組み入れる原資産通貨に対して、原資産通貨を実質的にインド・ルピー建となるように原資産通貨売り／インド・ルピー買いの為替取引を行いました。

▶ マネー・プール マザーファンド

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第140期 2025年6月14日~ 2025年7月14日	第141期 2025年7月15日~ 2025年8月13日	第142期 2025年8月14日~ 2025年9月16日	第143期 2025年9月17日~ 2025年10月14日	第144期 2025年10月15日~ 2025年11月13日	第145期 2025年11月14日~ 2025年12月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	25 (0.832%)	25 (0.825%)	25 (0.804%)	15 (0.474%)	15 (0.464%)	15 (0.488%)
当期の収益	24	22	23	15	15	15
当期の収益以外	0	2	1	-	-	-
翌期繰越分配対象額	627	624	623	630	639	644

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶ 国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）インド・ルピーコース（毎月決算型）

引き続き、円建の外国投資信託であるアジア・リート・マスター・ファンド（INRクラス）受益証券に投資を行います。また、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行います。

▶ アジア・リート・マスター・ファンド（INRクラス）

引き続き、主としてシンガポール・ドルや香港ドルなど複数の通貨建の日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）しているリート等に投資を行います。

原則として原資産通貨について原資産通貨売り／インド・ルピー買いの為替取引を行います。

ポートフォリオの構築にあたっては、市場価格が個別銘柄の適正価格を正しく反映していない結果生じている割安度合いなどを重視する方針です。

本ファンドは、高利回りで強固なバランスシートを持つ品質の高い銘柄に投資を続けています。今後も、市場価格が個別銘柄の価値を正しく反映していない結果生じている割安度合いなどを分析し、ポートフォリオを構築する方針です。

引き続き、運用状況につき注意深くモニタリングしつつ、運用クオリティの向上に向けた取り組みを継続してまいります。

▶ マネー・プール マザーファンド

日銀による金融市場調節方針の下、短期金利は安定した推移を想定しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

2025年6月14日～2025年12月15日

1万口当たりの費用明細

項目	第140期～第145期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	19	0.630	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(6)	(0.195)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(13)	(0.418)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.017)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.006	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.006)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	19	0.636	

作成期中の平均基準価額は、3,067円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

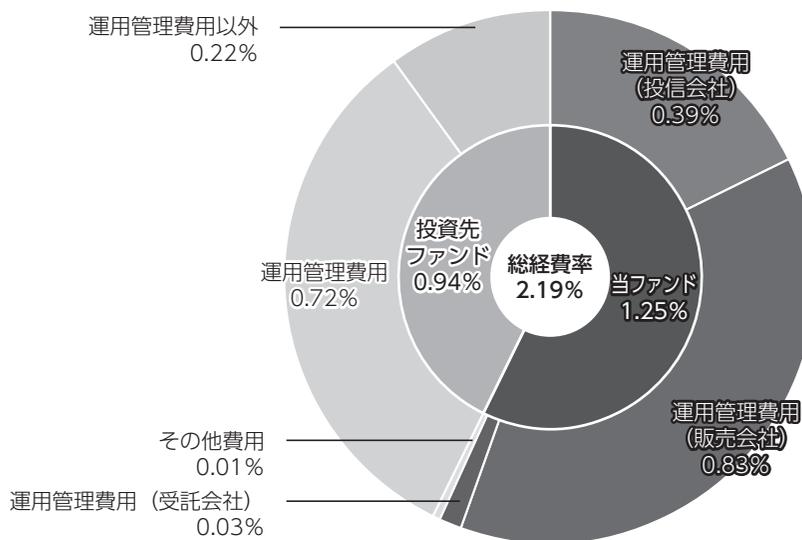
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.19%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	2.19
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.25
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.72
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.22

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 入手し得る情報において含まれていない費用はありません。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年6月14日～2025年12月15日)

投資信託証券

銘柄		第140期～第145期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	アジア・リート・マスター・ファンド（INRクラス）	1,434,367	662,489	4,689,524	2,201,650

(注) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2025年6月14日～2025年12月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年12月15日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		第139期末	第145期末		
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
	アジア・リート・マスター・ファンド（INRクラス）	31,407,416	28,152,259	13,130,213	99.0
	合計	31,407,416	28,152,259	13,130,213	99.0

(注) 比率は国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）インド・ルビーコース（毎月決算型）の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘柄		第139期末	第145期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
	マネー・プール マザーファンド	99	99	100

○投資信託財産の構成

（2025年12月15日現在）

項 目	第145期末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 13,130,213	% 97.9
マネー・プール マザーファンド	100	0.0
コール・ローン等、その他	277,266	2.1
投資信託財産総額	13,407,579	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第140期末	第141期末	第142期末	第143期末	第144期末	第145期末
	2025年7月14日現在	2025年8月13日現在	2025年9月16日現在	2025年10月14日現在	2025年11月13日現在	2025年12月15日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	14,386,027,171	14,215,017,230	14,455,041,727	14,489,388,266	14,315,132,418	13,407,579,259
コール・ローン等	308,250,357	277,351,978	298,133,420	298,354,343	228,708,194	277,261,638
投資信託受益証券(評価額)	14,077,672,585	13,937,561,372	14,156,804,135	14,190,929,708	14,086,320,863	13,130,213,602
マネー・プール マザーファンド(評価額)	100,299	100,339	100,388	100,418	100,458	100,498
未収利息	3,930	3,541	3,784	3,797	2,903	3,521
(B) 負債	173,091,897	150,336,900	163,101,665	163,933,262	93,857,095	146,522,987
未払収益分配金	119,266,582	117,010,179	115,835,759	68,237,715	66,241,398	64,985,634
未払解約金	38,766,898	18,553,770	30,767,966	82,111,293	12,881,905	66,400,058
未払信託報酬	14,926,336	14,643,375	16,353,230	13,465,102	14,604,559	15,004,522
その他未払費用	132,081	129,576	144,710	119,152	129,233	132,773
(C) 純資産総額(A-B)	14,212,935,274	14,064,680,330	14,291,940,062	14,325,455,004	14,221,275,323	13,261,056,272
元本	47,706,632,935	46,804,071,614	46,334,303,960	45,491,810,574	44,160,932,406	43,323,756,381
次期繰越損益金	△33,493,697,661	△32,739,391,284	△32,042,363,898	△31,166,355,570	△29,939,657,083	△30,062,700,109
(D) 受益権総口数	47,706,632,935口	46,804,071,614口	46,334,303,960口	45,491,810,574口	44,160,932,406口	43,323,756,381口
1万口当たり基準価額(C/D)	2,979円	3,005円	3,085円	3,149円	3,220円	3,061円

○損益の状況

項 目	第140期	第141期	第142期	第143期	第144期	第145期
	2025年6月14日～ 2025年7月14日	2025年7月15日～ 2025年8月13日	2025年8月14日～ 2025年9月16日	2025年9月17日～ 2025年10月14日	2025年10月15日～ 2025年11月13日	2025年11月14日～ 2025年12月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	117,558,727	112,089,237	112,215,278	103,920,268	111,670,623	102,100,954
受取配当金	117,495,905	112,026,681	112,153,303	103,862,396	111,606,178	102,043,200
受取利息	62,822	62,456	61,975	57,962	64,445	57,754
(B) 有価証券売買損益	547,469,355	139,850,424	388,434,587	271,590,016	284,199,861	△ 712,013,022
売買益	791,876,722	299,866,782	685,833,952	648,051,971	339,619,340	6,142,223
売買損	△ 244,407,367	△ 160,016,358	△ 297,399,365	△ 376,461,955	△ 55,419,479	△ 718,155,245
(C) 信託報酬等	△ 15,058,417	△ 14,772,951	△ 16,497,940	△ 13,584,254	△ 14,733,792	△ 15,137,295
(D) 当期損益金 (A + B + C)	649,969,665	237,166,710	484,151,925	361,926,030	381,136,692	△ 625,049,363
(E) 前期繰越損益金	△ 10,177,306,776	△ 9,423,436,300	△ 9,169,704,460	△ 8,599,578,926	△ 8,052,428,604	△ 7,574,032,248
(F) 追加信託差損益金	△ 23,847,093,968	△ 23,436,111,515	△ 23,240,975,604	△ 22,860,464,959	△ 22,202,123,773	△ 21,798,632,864
(配当等相当額)	(2,997,395,706)	(2,936,440,822)	(2,895,622,814)	(2,835,794,180)	(2,752,876,445)	(2,700,877,539)
(売買損益相当額)	(△ 26,844,489,674)	(△ 26,372,552,337)	(△ 26,136,598,418)	(△ 25,696,259,139)	(△ 24,955,000,218)	(△ 24,499,510,403)
(G) 計 (D + E + F)	△ 33,374,431,079	△ 32,622,381,105	△ 31,926,528,139	△ 31,098,117,855	△ 29,873,415,685	△ 29,997,714,475
(H) 収益分配金	△ 119,266,582	△ 117,010,179	△ 115,835,759	△ 68,237,715	△ 66,241,398	△ 64,985,634
次期繰越損益金 (G + H)	△ 33,493,697,661	△ 32,739,391,284	△ 32,042,363,898	△ 31,166,355,570	△ 29,939,657,083	△ 30,062,700,109
追加信託差損益金	△ 23,851,464,112	△ 23,447,604,919	△ 23,248,293,231	△ 22,860,464,959	△ 22,202,123,773	△ 21,798,632,864
(配当等相当額)	(2,993,025,562)	(2,924,947,418)	(2,888,305,187)	(2,835,794,180)	(2,752,876,445)	(2,700,877,539)
(売買損益相当額)	(△ 26,844,489,674)	(△ 26,372,552,337)	(△ 26,136,598,418)	(△ 25,696,259,139)	(△ 24,955,000,218)	(△ 24,499,510,403)
分配準備積立金	-	-	-	31,923,823	72,222,501	92,674,436
繰越損益金	△ 9,642,233,549	△ 9,291,786,365	△ 8,794,070,667	△ 8,337,814,434	△ 7,809,755,811	△ 8,356,741,681

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

- ①作成期首（前作成期末）元本額 48,384,838,094円
 作成期中追加設定元本額 798,015,684円
 作成期中一部解約元本額 5,859,097,397円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.3061円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は30,062,700,109円です。

③分配金の計算過程

項 目	2025年6月14日～ 2025年7月14日	2025年7月15日～ 2025年8月13日	2025年8月14日～ 2025年9月16日	2025年9月17日～ 2025年10月14日	2025年10月15日～ 2025年11月13日	2025年11月14日～ 2025年12月15日
費用控除後の配当等収益額	114,896,438円	105,516,775円	108,518,132円	100,161,538円	107,514,261円	86,963,697円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	-円	-円	-円	-円	-円	-円
収益調整金額	2,997,395,706円	2,936,440,822円	2,895,622,814円	2,835,794,180円	2,752,876,445円	2,700,877,539円
分配準備積立金額	-円	-円	-円	-円	30,949,638円	70,696,373円
当ファンドの分配対象収益額	3,112,292,144円	3,041,957,597円	3,004,140,946円	2,935,955,718円	2,891,340,344円	2,858,537,609円
1万口当たり収益分配対象額	652円	649円	648円	645円	654円	659円
1万口当たり分配金額	25円	25円	25円	15円	15円	15円
収益分配金金額	119,266,582円	117,010,179円	115,835,759円	68,237,715円	66,241,398円	64,985,634円

○分配金のお知らせ

	第140期	第141期	第142期	第143期	第144期	第145期
1 万口当たり分配金（税込み）	25円	25円	25円	15円	15円	15円

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

*三菱UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

当ファンドは、国際 アジア・リート・ファンド（通貨選択型）インド・ルピーコース（毎月決算型）が投資対象とする円建の外国投資信託証券です。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

名 称	アジア・リート・マスター・ファンド（I N Rクラス）
運用方針及び投資制限	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本を除くアジア諸国・地域の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している不動産投資信託（リート）等に投資を行います。 ・不動産投資信託（リート）等の組入比率は原則として高位を保ちます。 2. シンガポール・ドルや香港ドルなど複数の通貨建の不動産投資信託（リート）等に投資を行います（以下、投資先ファンドが投資を行う不動産投資信託（リート）等の通貨のことを「原資産通貨」ということがあります。）。アジア・リート・マスター・ファンド（I N Rクラス）における為替取引は、原則として原資産通貨について原資産通貨売り／インド・ルピー買いの為替取引を行います。 3. 投資対象国・地域における非常事態（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等の場合をいいます。）の発生を含む市況動向や資金動向、残存信託期間等の事情によっては、前記のような運用ができない場合があります。 4. 1発行体等あたりの純資産総額に対する比率は、原則として、25%以内とします。
投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド (Eastspring Investments (Singapore) Limited)
信託期限	無期限
設 定 日	2013年9月20日
会 計 年 度 末	毎年8月末
収 益 分 配	原則として、毎月分配を行います。

「イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド」について
 イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッドは、1994年10月にシンガポールにおいて設立された運用会社です。アジア・アフリカ地域を中心に金融サービスを展開する英国ブルーデンシャル社のアジアにおける資産運用事業部門であるイーストスプリング・インベストメンツ・グループに所属しており、グループ内のアジア各国・地域の運用会社と連携して運用を行っています。
 英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

アジア・リート・マスター・ファンド

損益計算書、純資産変動計算書、投資明細表は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

1. 損益計算書

(2024年8月30日に終了する期間)

(米ドルで表示)

投資収益

受取配当金（源泉徴収税控除後）	\$	11,723,844
利息		2,253
投資収益合計		11,726,097

費用

運用受託報酬		1,249,308
保管費用		335,737
会計処理および管理手数料		197,259
通貨管理代行手数料		153,424
専門家報酬		75,067
名義書換事務代行手数料		48,959
登録料		10,199
受託者報酬		10,000
費用合計		2,079,953

投資純利益 9,646,144

実現および未実現損益：

実現損益：

投資有価証券	(39,190,493)
外国通貨取引および為替予約取引	(3,363,832)
実現純損益	(42,554,325)

未実現評価損益の純変動：

投資有価証券	36,459,308
外国通貨取引および為替予約取引	386,804
未実現評価損益の純変動	36,846,112

実現および未実現損益（純額） (5,708,213)

運用による純資産の増減（純額） \$ 3,937,931

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

2. 純資産変動計算書

(2024年8月30日に終了する期間)

(米ドルで表示)

運用による純資産の増減額：

投資純損益	\$	9,646,144
実現純損益		(42,554,325)
未実現評価損益の純変動		36,846,112
運用による純資産の増減額		3,937,931

分配額		(16,738,150)
ファンドユニットの取引による純資産の増減額		(75,684,940)
純資産の増減額		(88,485,159)

純資産

期首		278,815,868
期末	\$	190,330,709

	IDRクラス	INRクラス	JPYクラス
ファンドユニット取引			
ユニット数			
発行	65,332,041	—	344,649,233
買戻し	114,082,368	4,086,864,216	60,210,792
償還	(545,516,480)	(20,764,249,933)	(1,491,745,697)
ユニット増減数	(366,102,071)	(16,677,385,717)	(1,086,885,672)
金額			
発行	\$ 226,631	\$ —	\$ 1,056,894
買戻し	390,880	13,161,367	180,196
償還	(1,867,730)	(66,956,945)	(4,507,136)
ファンドユニット取引による増減額	\$ (1,250,219)	\$ (53,795,578)	\$ (3,270,046)

Local Currency クラス

ファンドユニット取引

ユニット数	
発行	222,897,304
買戻し	578,288,251
償還	(4,170,289,057)
ユニット増減数	(3,369,103,502)

金額

発行	\$ 1,169,890
買戻し	3,005,707
償還	(21,544,694)
ファンドユニット取引による増減額	\$ (17,369,097)

(注) () 内の金額は、マイナスの金額です。

3. 投資明細表

(2024年8月30日現在)

(米ドルで表示)

投資口数	銘柄名	純資産比率	公正価値
	COMMON STOCKS (96.4%)		
	HONG KONG (17.5%)		
	REITS* (17.5%)		
2,933,000	Fortune		\$ 1,598,027
6,696,544	Link		31,678,180
			<u>33,276,207</u>
	TOTAL HONG KONG (Cost \$59,072,745)		<u>33,276,207</u>
	SINGAPORE (78.9%)		
	REITS* (78.9%)		
13,414,838	CapitaLand Ascendas		29,640,364
11,719,467	CapitaLand Ascott Trust		8,181,913
5,533,285	Capitaland India Trust		4,796,971
16,921,497	CapitaLand Integrated Commercial Trust		27,522,018
6,057,200	Digital Core Management Pte, Ltd.		3,694,892
8,006,593	ESR-LOGOS		1,658,506
4,958,465	Frasers Centrepoint Trust		9,053,778
8,608,660	Frasers Logistics & Commercial Trust		7,198,926
3,548,200	Keppel		2,395,501
5,127,700	Keppel DC		8,379,302
8,078,275	Mapletree Industrial Trust		15,122,169
14,107,188	Mapletree Logistics Trust		14,719,226
9,883,145	Mapletree Pan Asia Commercial Trust		10,387,747
1,557,500	Parkway Life		4,480,897
3,129,000	Suntec		2,952,679
			<u>150,184,889</u>
	TOTAL SINGAPORE (Cost \$157,979,915)		<u>150,184,889</u>
	UNITED STATES (0.0%)^(a)		
	REITS* (0.0%)^(a)		
22,927,800	Eagle Hospitality Trust		<u>—^(b)</u>
	TOTAL UNITED STATES (Cost \$16,642,078)		<u>—^(b)</u>
	TOTAL COMMON STOCKS (Cost \$233,694,738)		<u>183,461,096</u>
	TOTAL INVESTMENTS (Cost \$233,694,738)	96.4%	\$ 183,461,096
	CASH AND OTHER ASSETS IN EXCESS OF LIABILITIES	3.6	6,869,613
	NET ASSETS	100.0%	\$ 190,330,709

* REITS — Real Estate Investment Trust

(a) A zero balance may reflect actual amounts rounding to less than 0.05%.

(b) A zero balance may reflect amounts rounding to less than \$1.

IDRクラスにおける為替予約取引

取得	取引相手	契約額	決済日	売却	契約額	未実現 評価益	未実現 評価損	未実現 評価損益 (純額)
IDR	JPMorgan Chase Bank N.A.	72,788,129,736	09/30/2024	USD	4,689,655 \$	15,124 \$	— \$	15,124
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	3,476,127	09/30/2024	SGD	4,526,599	—	(2,088)	(2,088)
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	75,038	09/30/2024	HKD	584,408	32	—	32
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	731,714	09/30/2024	HKD	5,698,842	299	—	299
					<u>\$ 15,455</u>	<u>\$ (2,088)</u>	<u>\$</u>	<u>13,367</u>

(2024年8月30日現在)

I N Rクラスにおける為替予約取引

取得	取引相手	契約額	決済日	売却	契約額	未実現 評価益	未実現 評価損	未実現 評価損益 (純額)
INR	JPMorgan Chase Bank N.A.	1,617,729,806	09/04/2024	USD	19,288,252 \$	- \$	- \$	- *
INR	JPMorgan Chase Bank N.A.	10,685,464,072	09/30/2024	USD	127,356,109	-	(54,060)	(54,060)
INR	JPMorgan Chase Bank N.A.	10,685,464,072	09/30/2024	USD	127,162,490	139,558	-	139,558
SGD	JPMorgan Chase Bank N.A.	5,824,871	09/04/2024	USD	4,468,296	514	-	514
SGD	JPMorgan Chase Bank N.A.	131,282,872	09/30/2024	USD	100,815,740	61,361	-	61,361
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	19,481,134	09/04/2024	INR	1,617,729,806	192,883	-	192,883
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	4,423,612	09/04/2024	SGD	5,824,871	-	(45,198)	(45,198)
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	100,815,740	09/30/2024	SGD	131,282,872	-	(61,361)	(61,361)
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	100,860,594	09/30/2024	SGD	131,282,872	-	(16,508)	(16,508)
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	1,409,184	09/30/2024	HKD	10,975,007	604	-	604
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	21,662,164	09/30/2024	HKD	168,712,550	8,864	-	8,864
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	127,162,490	09/30/2024	INR	10,685,464,072	-	(139,558)	(139,558)
						\$ 403,784	\$ (316,685)	\$ 87,099

J P Yクラスにおける為替予約取引

取得	取引相手	契約額	決済日	売却	契約額	未実現 評価益	未実現 評価損	未実現 評価損益 (純額)
JPY	JPMorgan Chase Bank N.A.	1,257,695,266	09/30/2024	USD	8,722,109 \$	- \$	(51,701) \$	(51,701)
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	397,760	09/30/2024	SGD	518,047	-	(305)	(305)
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	6,289,785	09/30/2024	SGD	8,190,532	-	(3,778)	(3,778)
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	80,027	09/30/2024	HKD	623,267	34	-	34
USD	JPMorgan Chase Bank N.A.	1,417,573	09/30/2024	HKD	11,040,558	580	-	580
						\$ 614	\$ (55,784)	\$ (55,170)

* Net Unrealized Appreciation/(Depreciation) is less than \$1.

デリバティブ商品の額

店頭デリバティブ 為替予約	取引相手	デリバティブ		受取担保金*	差入担保金*	純額**
		資産の額	負債の額			
	JPMorgan Chase Bank N.A.	\$ 419,853	\$ (374,557)	\$ -	\$ -	45,296
マスターネットिंग契約の 対象となるデリバティブ合計		\$ 419,853	\$ (374,557)	\$ -	\$ -	45,296
資産および負債における 店頭デリバティブ合計		\$ 419,853	\$ (374,557)			

* Actual collateral received or pledged, if any, may be more than disclosed in the table above.

** Net represents the receivable/(payable) that would be due from/(to) the counterparty in an event of default. Netting is allowed across transactions traded under the same legal agreement with the same legal entity.

(2024年8月30日現在)

通貨略称

HKD	-	Hong Kong Dollar
IDR	-	Indonesian Rupiah
INR	-	Indian Rupee
JPY	-	Japanese Yen
SGD	-	Singapore Dollar
USD	-	United States Dollar

マネー・プール マザーファンド

《第32期》決算日2025年7月14日

[計算期間：2025年1月15日～2025年7月14日]

「マネー・プール マザーファンド」は、7月14日に第32期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第32期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		債組入比率	債券率	債先物比率	純総資産額
		騰落	中率				
	円		%		%		百万円
28期(2023年7月14日)	10,035		△0.0		—		141
29期(2024年1月15日)	10,034		△0.0		—		52
30期(2024年7月16日)	10,038		0.0	73.4	—		27
31期(2025年1月14日)	10,048		0.1	80.9	—		24
32期(2025年7月14日)	10,070		0.2	60.5	—		16

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	価額		債組入比率	債券率	債先物比率	債券率
		騰落	騰落率				
(期首)	円		%		%		%
2025年1月14日	10,048		—	80.9	—		—
1月末	10,049		0.0	50.6	—		—
2月末	10,053		0.0	67.1	—		—
3月末	10,057		0.1	79.9	—		—
4月末	10,060		0.1	67.7	—		—
5月末	10,064		0.2	78.5	—		—
6月末	10,068		0.2	54.1	—		—
(期末)							
2025年7月14日	10,070		0.2	60.5	—		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

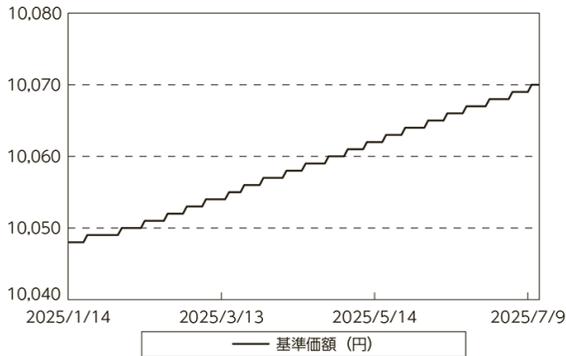
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ0.2%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の変動要因

(上昇要因)

利子等収益が積み上がったことが基準価額の上昇要因となりました。

●投資環境について

◎国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は、プラス圏での推移となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

○今後の運用方針

日銀による金融市場調節方針の下、短期金利は安定した推移を想定しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2025年1月15日～2025年7月14日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2025年1月15日～2025年7月14日)

公社債	
-----	--

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 1,507,758	千円 1,517,736

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2025年1月15日～2025年7月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年7月14日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
国債証券	千円 10,000 (10,000)	千円 9,995 (9,995)	% 60.5 (60.5)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 60.5 (60.5)
合 計	10,000 (10,000)	9,995 (9,995)	60.5 (60.5)	— (—)	— (—)	— (—)	60.5 (60.5)

(注) ()内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期		末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第1308回国庫短期証券※	—	10,000	9,995	—
合 計		10,000	9,995	

(注) ※印は現先で保有している債券です。

○投資信託財産の構成

(2025年7月14日現在)

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
公社債	千円 9,995	% 60.5	千円 9,995	% 60.5
コール・ローン等、その他	6,535	39.5	6,535	39.5
投資信託財産総額	16,530	100.0	16,530	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年7月14日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	16,530,146
コール・ローン等	6,534,863
公社債(評価額)	9,995,200
未収利息	83
(B) 負債	148
未払解約金	148
(C) 純資産総額(A-B)	16,529,998
元本	16,414,963
次期繰越損益金	115,035
(D) 受益権総口数	16,414,963口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,070円

<注記事項>

- ①期首元本額 24,543,675円
 期中追加設定元本額 20,703,645円
 期中一部解約元本額 28,832,357円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0070円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

マナー・プール・ファンドVI	11,772,713円
トレンド・アロケーション・オープン	997,308円
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型) 為替ヘッジなし	996,215円
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型) 為替ヘッジあり	996,215円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	769,078円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	220,146円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	125,062円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	119,857円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) 為替ヘッジなしコース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) インド・ルビーコース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	99,602円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) トルコ・リラコース(毎月決算型)	19,961円
合計	16,414,963円

【お知らせ】

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、記載変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。
 (2025年4月1日)

○損益の状況 (2025年1月15日～2025年7月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	40,780
受取利息	40,780
(B) 当期損益金(A)	40,780
(C) 前期繰越損益金	117,803
(D) 追加信託差損益金	121,206
(E) 解約差損益金	△164,754
(F) 計(B+C+D+E)	115,035
次期繰越損益金(F)	115,035

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。